



文教大学 父母と教職員の会

会報112号

発行 文教大学父母と教職員の会 発行日 平成26年12月22日
〒343-8511 越谷市南荻島3337
越谷 ☎048-974-8811 FAX. 048-977-7791
湘南 ☎0467-53-2111 FAX. 0467-54-5721
ホームページ <http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/> e-mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp



湘南キャンパスの彫刻たち

目次

平成26年度	全国支部長研修会報告	2～4	
学内訪問	「どんなところ？」	湘南校舎 保健センター	5
支部研修会及び行事予定		5	
「親子のための」	進路問題研修会「報告」	6～7	
第30回簗塔祭(湘南)		8	
第47回藍蓼祭(越谷)		9	
都道府県のページ	第22回 福岡県支部	10	
一都六県支部役員	合同研修会報告	11	
シリーズ「現場から見た」	「昨今の文教大生気質」	⑤	12
学生活動紹介	給食研究会(湘南)	13	
男子ソフトテニス部(越谷)		13	
支部派遣教職員報告	その⑭	14	
香川・岡山県支部総会	支部総会での相談を受けて	14	
石田学園長講演会 in 島根		15	
経営学部シンポジウム		15	
ボランティア活動 IN 福島	(越谷・湘南)	16	
文教大学 No.1		16	

全国支部長研修会報告

平成26年度全国支部長研修会が11月8日(土)、9日(日)の2日間、例年どおり文教大学湘南校舎で開催されました。

森副会長の開会宣言の後、齋藤父母教会長のご挨拶、大学を代表して、椎野副学長・戸田大学事務局長からご挨拶をいただき、研修会がスタートしました。

日程

- 8日(土)**
1. オリエンテーション 13時30分～14時15分
 2. 分科会 14時15分～
- 新支部長及び経験支部長研修



椎名副学長のご挨拶

3. 全体会 16時30分～
- 各分科会からの報告及び質疑応答
- 9日(日)**
4. ホームページ勉強会 9時30分～

- (A) 技術習得コース
支部ホームページの充実を目指す
講師：谷口特別委員・関運営委員
- (B) 教養コース
ホームページマニュアル学習
講師：情報学部 川合准教授
- 総括

1日目(8日)

「分科会・全体会」

本年度の分科会も昨年にならない、新支部長と経験支部長それぞれがA～Eの5つのグループに分かれ研修を行いました。

新支部長研修は2つのグループに分かれ、小林監査委員・萩原事務局次長及び関根副会長・星野副会長がそれぞれ司会を務め、支部運営マニュアルに沿って支部運営の説明がなされました。

経験支部長研修は、新規会員の獲得や支部総会参加率向上、また役員勧誘、総会の運営方法などの情報・意見交換が活発に行われました。その後、全体会を行い、各グループの代表が分科会の議論の概要を全員に報告しました。

- 新支部長グループA**
岩手・山形・茨城・栃木・群馬
千葉・山梨
- 新支部長グループB**
長野・岐阜・静岡・三重・和歌山・広島・長崎・熊本・宮崎
- 経験支部長グループC**
北海道・青森・宮城・秋田

- 福島中通り・福島浜通り
埼玉・東京・神奈川
経験支部長グループD
新潟・富山・福井・愛知・「京都・滋賀」・「兵庫・大阪・奈良」
島根

- 経験支部長グループE
山口・徳島・香川・愛媛
福岡・大分・鹿児島・沖縄

分科会での意見抜粋

支部運営について

・開催時期を決める際に、オープンキャンパスなど大学行事の日程が



分科会研修「グループC」

職員研修会 報告

父母と教 支部長 報

策会を催し交流を深めている。

支部総会の案内などに使うアドレ
スシールは事務局に依頼すると出
してもらえるので活用して欲しい。
(納入・未納入会員を分けること
も可能)

会員・学生の確保について

分らない。支部運営マニュアル
には記載してあるが、より一層の
周知徹底を図る必要がある。
・参加率を上げるために卒業生の中
で話題性のある人を講師に招いて
はどうか。

支部総会の案内を出す際に、未納
入会員へは懇親会費など別途会費
が必要であるなど文面を変える必
要がある。

・支部長が引き継げず困っているの
で、隣県との合併もしくは事務局
での管理をお願いしたい。

・小さい支部の活動には限界がある
が、九州地区では「西風会」を立
ち上げ支部を超えて繋がりをもつ
た。他の地域でも考えられる取り
組みではないか。

・支部総会の他に納入会員で秋の散

・関西以西では、文教大学の知名度
は高くない。文教大学の良さをも
っとアピールして知名度を上げる
工夫をして欲しいし、支部として
そのための協力は惜しまない。

教職員・学生の派遣について

・就職関係では、キャリア支援課か
ら職員を派遣していただくほか、
就職が内定した学生さんに体験登
表をして頂き、出席者には好評で
ある。

・参加者が少ない分、個人面談に十
分な時間を確保でき、成績や生活面
の相談が出来ることがありがたい。
・就職関係では、キャリア支援課以

外にも学外の講師を招いて研修を
行うことも良いのではないか。

・派遣教職員は、出来るだけ過去に
来ていない方をお願いするように
している。

会員・役員の勧誘について

・会員数の少ない支部は、分担当で
順番に役員を担うのが良い。
・研修旅行がきっかけで総会への参
加者が増えた。来年度も続けて行
きたい。

毎年積み上げられる支部長の皆さ
まの体験や考察が凝集された議事録



懇親会「茅ヶ崎 Mokichi」

は、文教大学父母と教職員の会の大
切な財産です。ご指摘頂いた様々な
改善点やご提案を今後の活動へ活か
して行きたいと思えます。

「懇親会」

研修会第一日目終了後、今年度は
場所を変え、19時より「茅ヶ崎Mokichi」
において、懇親会が開催されました。
安岡藍蓼会会長をはじめ、渡辺理事
長、石田学園長、戸田大学事務局長
他、大勢の方々にご出席いただき、
実りある懇親の場となりました。

20日(9日)

「ホームページ勉強会」

が開催されました

父母と教職員の会 運営委員

情報学部 教授 関 哲朗

リニューアルされた父母教のホー
ムページはご覧頂きましたでしょう
か。従来の内容に加え、各支部の情
報が加えられています。

各支部の情報は、迅速かつ適切に
情報を共有して頂く意味からも、で
きる限り各支部の皆様の手で作
り、更新して頂くことが望ましいと思
います。一方で、ホームページの管理
は簡単そうで難しいもの。誰でも続



ホームページ勉強会「全体会」

けられそうで、そうでもないものなのです。

ホームページの管理が難しい理由はいくつかあります。一つの課題は、掲載すべき情報の収集や整理、また、これをホームページに掲載するため「時間」を作り出すことの難しさです。父母教に関係する皆さんは、それぞれにお仕事を持っていらっしゃると思います。案外、「合間を見てやる」というのは難しいものです。近況報告の執筆を支部長さんから頼まれた

会員の皆さん、中々出してもらえない原稿を催促する支部長さん。双方に恐縮しながらのやり取りが目につかびます。仕事に、家族サービスに疲れた支部役員の方に、ちょっとパソコンに向かって、支部のページを更新してください：とは、言い出しにくいですよ。

このような時間のやり繰りの難しさに加えて、「ホームページを作る」という独特の作業の難しさが存在することは否めません。

そこで、頑張る支部長さんを何とか応援できないかと考え、本年度の支部長研修会では、「ホームページ勉強会」なる時間を設けてみました。当日は、どうしても都合の合わない数支部を除く、ほとんどの支部役員の皆さんに参加して頂くことができました。

前半は、皆さんに同じ教室に集まって頂き、湘南キャンパスの情報教育の環境をご紹介しながら、ホームページ作りに必要なパソコンやネットワークのことを少しずつ知っていただく時間を持ちました。この部分は、情報学部准教授の川合康夫先生と学生の皆さんに担当頂きました。



支部の記事をUpしています

と、ちょっと心配と言う方のため「教養コース」に分かれて、ホームページの作り方の講習会を行いました。「技術習得コース」は、父母教の活動充実強化特別委員の谷口里香さん（千葉県支部）、「教養コース」は前半担当の川合先生に引き続き講師をお努め頂きました。

父母教のホームページは、ちょっと仕掛けが作ってあって、文字を入れてボタンを押すと見出しがきたり、支部便りのような文書、支部総会などの写真を簡単に掲載できたりするようになっていきます。このあたりの操作方法を、実習を交えながらご理解を頂く時間を持ちました。

講師の説明を聞く皆さんの姿勢は、真剣そのもの。実は、この企画は、あまり支部長さんたちに歓迎されないのではないかと心配していました。ご参加くださったお一人おひとりの視線、表情を見ていて、お手伝いさせて頂いた私も安心しました。

終了後には「やってみようかな」という複数の支部のお声がけを頂くこともでき、父母教のホームページの確実な進化を期待できる一日となりました。

学内訪問 ～どんなところ？～

湘南校舎 保健センター

湘南校舎 教育支援課

課長 乳井 英太

学生生活において、健康に恵まれるかどうかは直接学業に大きな影響を及ぼす一因となります。湘南校舎保健センターでは、医務室と相談室を配して学生の皆さんの身体面・精神面の健康を保持し、増進させていくことをお手伝いいたします。

医務室では、以下の日程で心や身体の状態に関する疑問や悩みに対応をできるように専門の医師に来ていただいております（精神科医のみ要予約）。必要な場合は、病院の紹介もしております。

また、開室時には、専門の職員が常駐しており、ケガや病気の応急処置や健康相談を行っていますので、気軽に入室してください。

（平日）9時10分～16時40分
（土曜）9時10分～11時30分

健康相談（内科医）

第4金曜日 13時～15時

健康相談（婦人科医（女医））

第1、第3水曜日 13時～15時

心の相談（精神科医）

第4木曜日 13時～15時

また、年に1回全学生に対して4月オリエンテーション期間に定期健康診断を実施しています。この健康診断をもとに、就職活動等に必要となる健康診断証明書の発行も行っています。

相談室では、平日2名のカウンセラーが、学生の皆さんがより充実した学生生活が過ごせるように、相談ができる体制になっております。また、特に悩みはなくても、もっと自分の性格について知りたい、将来の可能性について明確にしたいなどの場合も、性格検査や職業興味検査なども用意しております。

カウンセラーへの相談は予約制になっております。相談を希望される場合は、直接相談室を訪問いただくか、電話予約も受付けております。学生さん本人だけでなく、ご家族や友人と一緒にでも構いません。個人の秘密は厳守いたします。

文教大学保健センター

医務室 0467-5413712(直通)
相談室 0467-5413818(直通)

平成27年1月～4月 行事予定

1・8	授業再開(越谷)
1・9	授業再開(湘南)
1・17～18	大学入試センター試験(越谷)
1・26	秋学期授業終了(越谷)
1・26	秋学期授業終了(湘南)
1・27～2・2	秋学期定期試験(越谷)
1・27～2・2	秋学期定期試験(湘南)
2・1	地区入試(越谷)
2・1	地区入試(湘南)
2・7～10	A日程入学試験(越谷)
2・7～9	A日程入試1期(湘南)
2・19	4年生成績発表(越谷)
2・20	4年生成績発表(湘南)
2・26	A日程入試2期(湘南)
3・6	B日程入学試験(越谷)
3・6	B日程入学試験(湘南)
3・9	1～3年生成績発表(湘南)
3・11	卒業発表(湘南・越谷)
3・16	卒業式(越谷)
3・19	人間科学部 11時～11時半 文学部 12時半～13時 教育学部 14時～14時半 卒業式(湘南)
3・31	情報学部・国際学部 健康栄養学部 12時半～ 1～3年生成績発表(越谷)

平成26年度 都道府県支部研修会 開催一覧

支部名	開催日	会場
宮城県支部	12/14(日)	仙台市情報・産業プラザ
山形県支部	H27. 2/7(土)	山形国際ホテル
福島県支部	11/30(日)	いわき市生涯学習プラザ
福島県支部	H27. 3/8(日)	いわき市生涯学習プラザ
福島県支部	H27. 2/22(日)	市民プラザ「ビッグアイ」
福島県支部	H27. 1/31(土)	渋川問屋
栃木県支部	H27. 2/21(土)	ホテルニューイタヤ
群馬県支部	H27. 2/28(土)	伊勢崎文化会館
埼玉県支部	H27. 2/15(日)	本所都民防災教育センター
千葉県支部	H27. 2/7(土)	未定
東京都支部	H27. 2/21(土)	文教大学学園 旗の台校舎
神奈川県支部	H27. 1/31(土)	山梨県立美術館、ワイナリー等
新潟県支部	11/30(日)	アトリウム長岡
一都六県支部役員合同研修会	11/22(土)～23(日)	八ヶ岳寮
親と子のための進路問題研修会	10/18(土)	越谷校舎
親と子のための進路問題研修会	11/29(土)	湘南校舎
九州地区・沖縄県合同研修会(西風会)	H27. 2/21(土)～22(日)	小倉リーセントホテル

※この一覧は予定ですので、変更になる可能性があります。ご了承ください。

3・31～4・4	在学生新入生オリエンテーション、健康診断(越谷)
4・1～4・11	在学生新入生オリエンテーション、健康診断(湘南)
4・6	入学式
4・7	春学期授業開始(越谷)
4・13	春学期授業開始(湘南)

親と子のための進路問題研修会

研修会を終えて

父母と教職員の会長 齋藤 浩二



今年度も越谷キャンパスと湘南キャンパスで開催された「親と子」のための進路問題研修会

「会」は、父母と教職員の会が主催し、キャンパスがある埼玉県と神奈川県両支部の主導のもと、東京都と千葉県支部また教職員の方々が協力をし、全国規模で会員の方々に参加を呼びかけ、北は北海道、南は福岡県まで総勢500名を超える参加がありました。

進路問題研修会では、今まさに就職活動の最前線で活躍し、内定を勝ち取った学生達の体験談を聴くことが出来たり、外部講師を招き、採用する側からの声をもとに、どのようにして自分の思いを企業側に伝えることが出来るのか、保護者の方のみならず実際に今後経験することになる学生にとって、とても有意義であったと思います。

また、教職員の方々の協力を得て職種別講演会、個別相談も行い、盛りだくさんの研修内容でありました。来年から就職活動の開始時期が繰り下げ

になることから、今年の研修会是一段と関心が高かった様に思います。

最後になりますが、研修会の開催にあたりご尽力いただきました教職員の方々、および各支部の役員の方々に感謝いたします。

越谷キャンパス(10月18日土)

埼玉県支部支部長 福井 伶子

埼玉県支部の行事として実施して参りました「親と子のための進路問題研修会」を、全国の会員の皆様に直接ご案内して2年目になります。今年も大勢の方に参加していただきました。事務局や大学の協力で掲示板等で学生にも周知することができ、学生や親子での参加が増えました。

齋藤父母教会長と野島学長のご挨拶の後、越谷校舎就職委員長の石橋先生より、「越谷校舎の進路状況」のご報告をいただきました。

【特別講演】

① 『就職をめざす皆さんへ』

教育現場・管理職・教育委員会の経験をされた立正大学非常勤講師の篠原善廣先生には、公立と私立学校の違いや教員採用試験について、具体的なお話をいただきました。

② 『最新の就職事情』

湘南校舎で人気の(株)ペイジー代表取締役の高島博志氏が最新の就職事情について、分かりやすく、熱意をもって説明して下さい、大変好評でした。

【内定者等の体験発表】

埼玉県教員、企業、公務員内定の学生3人と卒業生で社会人の方に、職業を選んだ理由、就活の準備と心構え、親にお願いしたいことを発表していただきました。目標をしっかりと持ち、計画的に取り組んだ結果が内定につながっています。成功体験は後輩に伝えられ、引き継がれていきます。

【職種別講演会】

教員・一般企業・公務員について、キャリア支援課毛利課長、青島課長補佐、佐藤氏からより詳しく、就職率・



熱心に耳を傾ける参加の皆様方(越谷)

参加者数

区分	保護者数	学生数	講師・社会人・教職員・学生	支部役員	事務局	合計
人数	214人	64人	18人	23人	6人	325人

支部・学部別参加者数

		埼玉	千葉	神奈川	東京	北海道	青森	岩手	秋田	福島	茨城	栃木	群馬	新潟	山梨	長野	三重	合計
教育学部	保護者	20	9	5	12	0	0	0	0	3	0	5	3	1	0	3	0	61
	学生	3	2	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	14
人間科学部	保護者	22	6	1	1	0	1	0	0	6	3	7	8	13	0	1	1	70
	学生	7	2	0	0	1	1	0	0	3	0	1	1	4	0	0	1	21
文学部	保護者	28	5	1	6	0	0	1	1	0	0	9	12	7	5	1	5	83
	学生	12	1	1	1	0	0	1	1	0	0	2	3	2	3	0	1	29
合計		92	25	11	23	1	2	2	2	12	3	25	27	27	8	7	8	278

個別相談参加組数

組数	就職(教員)	就職(公務員)	就職(一般企業)	学業	合計
	27組	6組	10組	5組	48組

平成26年度
支部別、学部別の
参加状況(実数)

越谷キャンパス



就職内定率・動向についてのお話をいただきました。

【個別相談】

8名の教職員の方々にご協力をいただきました。昨年引き続き遠方の方の申込みが多かったです。

今年も授業のある土曜日の開催で、会場の移動等でご不便をおかけしました。一人でも多くの学生が内定を得ることを願って、研修会を続けて参りたいと思います。

ご協力ありがとうございました。
〔アンケート抜粋〕

・面談がとても参考になり、希望して良かった。

・親として子の心の応援の重要性を改めて認識した。本人が参加できなかったことが残念。

・大変参考になった。学生を大事にする大学だと改めて思った。

湘南キャンパス(11月29日(土))

神奈川県支部支部長 森 弘幸

多数のご参加及びアンケート調査のご協力をいただき、ありがとうございます。おかげさまで、無事終了することができました。

進路問題研修会は昨年度から、神奈



昼食兼懇親会の様子

川南支部主催から父母と教職員の会主催となり、2回目の開催となりました。今年も昨年同様、全国の会員様へ直接ご案内いたしました。

当日の天気予報は曇りのち雨でしたので、「出足が鈍るのでは…」と心配いたしました。北は岩手県、南は福岡県からと親子合わせて200名を超える参加を頂きました。やはり、就職活動についての不安感が高まっていると考えられます。

父母と教職員の会・齋藤会長の開会挨拶、大学代表・椎野副学長からご挨拶をいただきました、開会となりました。

1. 講演

湘南校舎キャリア支援課 渡辺課長 補佐より「湘南校舎学生の進路就職状況」について、お話をいただきました。

〔就職内定者の体験発表〕

情報・国際・健康栄養の3学部4名の就職内定者の発表がありました。

2. 特別講演

(株)ページメーカー代表取締役 高島博志氏(人事採用コンサルタント)による「最新の就職事情」について、ご講演いただきました。

3. 分科会

一般企業・健康栄養関係・教職(情報・国際)・公務員と5つに分かれ、卒業生及び採用試験合格者の体験談の発表がありました。

4. 個別相談

個別相談につきましては、32組の希望者がありました。相談内容により情報・国際・健康栄養・経営・進路総合と5つの相談窓口を設け、教職員8名による個別相談となりました。

5. アンケート結果より

学生の体験談・特別講演・個別相談とご好評をいただき、ありがとうございます。来年度も皆様のご要望・ご意見を取り入れ、進路問題研修会を開催したいと考えております。

この研修会を役立て頂き、一人でも多くの学生が内定を手にすることを願っております。

参加者数

区分	保護者数	学生数	講師・教職員	体験者・内定生・卒業生	支部役員	事務局	合計
人数	149人	59人(7M/14F/5A/3B)	18人	11人	17人	3人	257人

支部・学科別参加者数

		神奈川県	千葉県	埼玉県	東京都	岩手県	宮城県	山形県	福島県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	島根県	香川県	福岡県		
情報学部	保護者	25	4	6	2	1	1	1	2	0	0	7	7	12	2	2	2	8	0	2	1	85
	学生	8	2	2	1	0	0	1	1	0	0	2	1	2	1	1	1	4	1	1	0	29
国際学部	保護者	12	0	1	3	0	0	0	0	1	3	2	3	3	2	0	4	0	0	0	0	37
	学生	4	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	15
健康栄養学部	保護者	7	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	0	0	0	18
	学生	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	6
経営学部	保護者	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	9
	学生	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
合計		60	7	14	7	3	3	2	4	2	5	11	12	23	8	11	3	23	1	3	1	203

個別相談参加組数(32組)

学業・学生生活	就職・進路
5組	27組

職種別講演会参加者数

一般企業	健康栄養関係	教職(情報/国際学部)	公務員	合計
108人	21人	12人	18人	159人

平成26年度
支部別、学部別の
参加状況(実数)

湘南キャンパス



第30回 聳塔祭 「Calling」

— 湘南キャンパス — 10/25(土)～26(日)



30回目を迎えました



神奈川県支部の皆様方



内庭ステージ 今年のテーマは「Calling」



内庭から観覧する観客のみなさん



子供たちにも大人気



スパイダーマン現る！



聳塔祭は今年で30回目を迎えました。記念すべき節目の学園祭らしく、記念ロゴの制作など様々な企画が聳塔祭実行委員会のご尽力のもと、準備されました。テーマ「Calling」にも呼び込まれて、当日はたくさんの方が来てくださいました。

本部企画としては、タレントトリークショーに俳優の桐山 漣さん、コンサートは体育館大アリーナで文教大出身のC&Kの二人組、そしてお笑いライブのキングオブコメディの3大企画の他、バルーンアート、ドットアート、移動水族館、毎年おなじみの聳塔展望台にもたくさんの方が登りました。

内庭のステージでは次々にイベントが行われ、多くの観客がステージに引き込まれていました。

屋台は内庭エリア等、実に50店が並び大盛況でした。神奈川県支部の焼印入り「どらやき」は、600個完売という人気ぶりでした。

教室展示では、部活、サークル、ゼミナールが趣向を凝らした展示や発表を行っていました。

大学生の若さや熱気、元氣溢れる30回目となりました。ご父母の方々も楽しまれたことと思います。

第47回 藍蓼祭 「Going」

— 越谷キャンパス —

10/31(金)~11/2(日)



正面玄関の大看板



「僕らの夏休み」Project in 岩手県宮古市



野外ステージのダンス



出張販売も盛んです



競技ダンス部「DANCE ☆ CAFE」



秋のお楽しみ大抽選会！

越谷キャンパスの学園祭は、10月31日(金)～11月2日(日)にかけて開催されました。第47回目を迎えた今年のテーマは「GOING」。

『あなたは、新しいことに挑戦していますか？また、新しい気持ちに出会えていますか？ひとりひとり自らが楽しみ、新たな自分を見つける藍蓼祭であってほしい』…という思いが込められています。

本部企画の豪華景品が用意された「秋のお楽しみ大抽選会」をはじめ、「スタンプリリー」や「団体PR大賞」も開催され、最終日の夜は「レーザーショー」が幻想的な空間を演出しました。

体育館のメインコンサートは、「Silent Siren」というガールズバンド。

毎年、学園祭が近づくこと、学生たちが段ボール集めに学内を歩いています。食材の調達やテント張り、その他諸々の準備に追われながらも、学園祭を成功させたいという思いが伝わってきます。今年も残念ながら2日目に雨に見舞われましたが、熱気あふれる素敵な学園祭になっていました。

都道府県支部のページ

第22回 福岡県支部の巻

家族的雰囲気が好きです

福岡県支部長 富増 健次



父母教の福岡県支部長に就任して2年目に入りました。昨年8月に支

部長の役をお引き受けして以来、最初の1年間は何をすればよいのか戸惑うばかりで、支部長としての仕事は殆どできませんでした。2年目に入り、本日からいただいた「支部運営マニュアル」を読み返しながら取り組み、少しずつ要領が分かってきたような気がします。これから私の後を引き継ぐ方も最初は戸惑うのではないかと思います。現在は、いつ何をすればよいか、事あるごとに書きとめておき、支部長としてのカレンダーを作成しています。

支部活動の一番大きな行事は、毎年8月に開催している支部総会・研修会です。会員数が15名と少なく、参加者も多くはないので、佐賀県支部と合同で開催しています。しかし、参加した父母の評判は上々です。今年は講師として、湘南就職委員会委員長の石井先生と越谷キャリア支援課の毛利課長に

お話しをいただきました。また、父母教本部から齋藤会長と惠羅事務局長、それに藍夢会福岡県支部の皆様にもご参加をいただき、熱心な議論が行われました。とりわけ、子供の進路問題に関する講師のお話しに高い関心が示されました。また、昼食を挟んで、午後に行われた個人面談では、個人別の成績データを基に、より具体的なアドバイスをいただきました。

今回は参加できなかった会員にこの熱気をどう伝えていくかが、今後の支部活動活性化の鍵だと思っています。



今年度支部総会・研修会の様子

福岡県支部では、越谷、湘南の両キャンパスで開催されている「父

母のための「一日大学」や「親と子のための進路問題研修会」への参加希望者に対して旅費の一部を助成しています。遠隔地から参加する父母の負担を軽減し、少しでも父母教の活動を理解していただければと願っています。

また、支部長として、代議員会や支部長研修会にも出席させていただきました。「学長主催パーティー」で、石田学園長がよくお話しされる「文教ファミリー」、「文教一家」という言葉



梅の花

には私も共感を覚えます。文教大学の持ち味は家族的雰囲気を大切にしてるところだと思います。最近では企業経営においても、株主主権といった色合いが濃くなり、

家族的な経営は過去のもののように見られがちです。しかし、戦後日本の経済発展を支えてきたのは、終身雇用の維持や企業内福利厚生の実現などにみられる家族的経営であり、これは簡単に捨て去るべきではない日本社会の強みであると考えています。

その意味で、今年から大学と父母教の共催により始められた、越谷、湘南キャンパス学生食堂の100円朝食はクリンヒットだと思います。地方から出てきて寮生活をしている学生の親とし



娘さん撮影の100円朝食

ては、大変ありがたい取り組みだと思います。私の娘はこの100円朝食をよく利用しています。

娘は現在人間科学部臨床心理学科の4年生です。毎日授業があるわけではありませんが、最近では毎日のように越谷キャンパス学生食堂の100円朝食を食べ、図書館で勉強しているようです。本人は授業のない日も寝坊することなく大学に通い、生活にリズム感ができてきたと言っています。その甲斐があつてでしょうか、おかげさまで大学院の入学試験にも合格することができました。

娘の大学卒業に伴い、私も父母教の福岡県支部を卒業するものと思っておりましたが、来年度からは大学院生も正会員の対象になるとお聞きしています。そこで、微力ではありますが、今しばらく父母教の活動に参加させていただこうと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

一都六県支部役員合同研修会報告

26年度

埼玉県支部副支部長 山本 信明

今年も父母と教職員の会、恒例行事である一都六県支部役員合同研修会が山梨県にある『学校法人文教大学学園八ヶ岳寮』を会場に54名ものご参加を頂き、11月22日(土)、23日(日)の日程で開催しました。

祝日を含む三連休の初日、天候にも恵まれ11月の気温とは思えない暖かさの中、遠くには富士山、目の前には八ヶ岳の綺麗な景色を見ながら会場へ。清里周辺は紅葉シーズンも終わっていたのが幸いし、道中渋滞もなく参加者の皆様は会場入りされました。研修会の当番支部として一足先に現地入りした埼玉県支部は、到着後、参加者受付、研修会場のセッティング、各部屋割りなどの準備を協力して行い、参加者をお迎えしました。

研修会冒頭、父母と教職員の会事務局長惠羅博先生からリコーダー演奏を特別にご披露して頂き、音色で心が落ち着いたところで、人間科学部准教授二宮雅也先生を講師にお招

きして、2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催が日本(東京)に招致できたことから『東京オリンピックに向けて』と題する講話をお願いしました。



研修風景(リコーダーを手に惠羅先生と二宮先生)

先生は、ロンドンオリンピックや東京マラソンを題材に映像や事例、ご自身のボランティア経験を交えたお話をされ、ボランティアへの関わり方などを分かりやすく解説頂きました。スポーツボランティアの継続的な活動へのシナリオは、①楽しさの発見(想像以上におもしろい関わり方

がある) ②ともに楽しむ(喜び2倍) ③スポーツそのものに詳しくなる(まだまだ隠れたスポーツボランティアがある)。そのためには、スポーツボランティアを支えるスポーツ環境も必要とおっしゃっていました。

また、質疑応答では裏話などもあり、参加者は6年後の東京オリンピックに向け、スポーツボランティアに関わりたいと思う研修会となりました。交流会は夕食を兼ねて行い、その後、埼玉県支部長挨拶、オープニングの「文教大学ジャンケン大会」を皮切りに懇親会を開催しました。

この日のために実行役員が準備をして来た「お楽しみゲーム大会」は、参加者全員がくじを引き、8チームに分かれて、6種類のゲームで得点を競い合いました。勝利の歓声や珍プレーの笑いなどチーム対抗戦を通して、一都六県の皆様が楽しみながら親睦を深めることができました。

懇親会終了後も、夜更けまで談話を楽しんでおられました。

翌日は朝9時に解散、各支部の皆様をお見送りした後、埼玉県支部は『平山郁夫シルクロード美術館』を見学、コレクションの仏像や装身具、



埼玉県支部参加者の皆様方

平山郁夫が描いた作品を鑑賞し、シルクロード文化の理解を深めました。次に『シャトレレーゼ白州工場』へ、オートメーション化された工程を見学、お目当てのアイス試食コーナーでは、昼食後にも拘らず、デザートは『別腹』と言いますが、色々なアイスを試食し、4種類もの味比べをした人もいらっしかったです。(お腹は大丈夫?) 最後になりますが、お忙しい中お帰りの時刻ギリギリまで懇親会にお付き合い頂きました二宮先生、また、毎年開催に多大なるご支援を頂いております惠羅先生と事務局の皆様、参加支部の皆様、この場をお借りしましてお礼の言葉に代えさせていただきます。

シリーズ

現場から見た昨今の文教大生気質 ⑤

今、思うこと

教育学部 特別支援教育専修教授

学生委員長 星野 常夫

1980年(昭和55年)4月に教育学部に赴任以来、34年が過ぎた。私自身を、川の流れの中にたたずむ一本の杭にたとえてみる。川の流れは絶えず、私の周りを通り過ぎていく。一本の杭は、じつと水の流れを見続ける。このような例えでいえばその杭は、水の流れがどんなふうに変化しているのか、どんな違いを示すようになったのかわかるはずである。なるほど。文教大に30年あれば文教大生気質の変化など語るのほそれほど難しいことではないだろう。「昔は、ジャージ姿で登校する者がいたつけ、そういうえば、ドテラ姿の学生もいたな」とか「そういう表面上の変化はすぐに頭に浮かんできた」。

だけれど、と、へそ曲がりの私はまた考える。その杭自体も30年の年月の間に、変化しているのだ。単純に言えば加齢による変化、老化とい



ったほうがよろしいか。赴任した時、若干30歳、当時のゼミの学生たちと撮った写真を見て、「だーれが生徒か、先生か」。自慢じゃないが、(別に自慢することでもないが)、教師と学生の区別がつかないといつてもけして誇張でもない。以前、学生に見せたら、「うっそー」「まじっすか」と発した。しかし、その一本の杭そのものもだいぶ朽ちてきているし、変化してきているのだ。そして、そのことによって、私に対する学生の対応や反応そのものが違ってくる。以前は、自分たちの年代とそう違うない兄貴の年代の者に対する対応だったのが、今では白髪交じりでおじいちゃんとかまではいかないが、父親よりは年配の

者に対する対応というものに当然なってくるだろう。そのような変化の中で形成される私の学生への感じ方も変わってくる。なので30年前と同じ目線では「文教大生」を語れないだろう。私が感じている今と昔の学生を単純に比較することはできないだろう。ということとは、比較する基準になにか第3者というようなものを持つてこなければならぬのだから。

私が持っている「文教大生の気質」のひとつに、「気持ちのよい感じである」ということがある。そのような学生が多いという印象を持っている。先に述べた、第3者による基準がまだ小学校の頃、大学の学園祭に連れてきた。グラウンドでは子供用の遊び場も作られている。出店もたくさんあるし、教室では展示もある。そこで学園祭を娘は丸一日充分に楽しんだようであった。次の年の学園祭には、娘は友達を何人も連れてまた参加した。なにが楽しかったのか、娘の話を聞いてみると、どうやらモノにつられてということではないよ

うなのだ。学園祭には、遊具も、目を飽きさせない出店もあるし、それに食べ物だつてあるのだが。そういうモノにひかれたというより、それぞれのところに対応してくれた学生たちのことを盛んに言うのだ。彼らの印象がよほどよかったらしい。昨年度から学生委員長に就任したのだが、学園祭開催中は、役割上キヤンパスに張り付かなければならぬ。そして何度も学内を巡回するのだが、今年はその時に出店、教室での学生たちの立ち居振舞いや言動をいつもとは違った目で観察した。なるほど今も変わらず「気持ちのよい」という印象を学生たちに対して実感として強く感じられたのだ。ということ、今もその気質は変わらずに存在していると云えるのだろうか。文教大生の基本的な気質と云っていいのだろうか。

私事で申し訳ないが今年、孫が生まれました。その孫が小学生になったら、学園祭に連れてきてみようと思っ

ている。どんな反応をするだろうか。学生たちは変わらずに、娘と同じようなことを孫に言わせ、感じさせてくれという期待を込めて、その日が来ることを楽しみにしている。

学生活動紹介

給食研究会（湘南校舎）

健康栄養学部 管理栄養学科

3年 関野 華

私たち給食研究会は、健康栄養学部の臨床コースを選択している生徒のなかで給食施設への就職希望の方を募り、このような研究会を立ちあげました。

今回、文教大学父母と教職員の会の会報に私たちを紹介いただき、誠にありがとうございます。

私たち給食研究会は、様々な給食施設（横須賀の自衛隊、病院など）の見学をしたいと考えています。この見学を通して、新調理システムやそれぞれの給食施設の特徴（施設、設備、衛生管理など）を知り、今後の実習や就職活動に役立てたいと考えています。さらに、私たちは病院実習に行く前に就職活動がはじまってしまうので、少しでも病院の現状（チーム医療、栄養指導、給食管理など）を知っておきたいと思い、このような活動を立ち上げようと思えました。

私たちの活動としては、夏季の長期休暇を利用し、横須賀にある海上



自衛隊第二術科学校の大量調理施設の見学に行きました。自校の大量調理施設との相違点など見学することによって学ぶことができました。さらに、自衛隊の管理栄養士の方からのお話も聞くことができ、自衛隊での献立の特徴や留意点を知ることができました。実際に施設の見学をすることによって、授業では学ぶことのできないことを学びました。今後、他の大量施設への見学も考えており、私達が目指している管理栄養士がどのような場所でのような活躍をしているのかを学び、知識を増やしていきたいと思っています。これからも温かなご支援をよろしくお願ひします。

男子ソフトテニス部（越谷校舎）

文学部 中国語中国文学科

2年 大野 紘貴

今回、文教大学父母と教職員の会の会報に男子ソフトテニス部を紹介いただきありがとうございます。

私たち男子ソフトテニス部は現在、4年生、3年生が引退し、12名で活動しています。活動内容は、主に春リーグ、秋リーグに向けて月、木を除く週5で図書館付近にあるオムニコートで練習しています。他にも数多くの大会があり、東日本インカレや全日本インカレもあり、そこでも結果を出せるように日々努力しています。しかし、一番のメインが春と秋に行われるリーグ戦です。体育会の部活のほとんどがこのリーグ戦のために行っているかと思えます。1部から12部まである中、私たち男子ソフトテニス部は3部に所属しています。男子ソフトテニス部の目標は「3部優勝！2部昇格！」です。今年の春リーグは3部2位という悔しい結果に終わり、秋リーグは3部優勝をしたものの2部との入れ替え戦で惜しくも負けてしまい3部残留になってしまいました。あと一歩だ



ったのですが弱さがでてしまいました。この悔しさをバネにもう同じ過ちを繰り返さないためにも日々頑張っています。体育会としてやっていけるのでメリハリをしつつかりつけて活動を行っています。

このように、私たちが日々不自由なく真剣に取り組めて活動ができるのは、活動を支えてくださっている多くの方々の力があってこそだと思います。感謝の気持ちを忘れず、今後も応援してくださいと思っている皆さんに「頑張っているな」と思ってもらえるように頑張っていきたいと思えます。今後とも男子ソフトテニス部をよろしくお願ひします。

支部派遣教職員報告

その⑭

香川・岡山県支部報告

人間尊重・アットホームな支部総会

経営学部 経営学科

准教授 新井 立夫



今年度、8月30日(土)に香川県支部総会、9月6日(土)は岡山県支部総会と2つの支部

総会へ参加をしました。香川県支部総会の会場には、愛媛県支部長の松下様もご参加くださり、岡山県支部総会への大学側からの参加者は、教育学部の萩原敏行先生と私の2名でした。

私自身、香川県支部総会への参加は、初めての参加であり期待と不安が入り交じった心境でした。うどん文化について少しは理解していましたが、高松市内をはじめ、その店の多さに驚きました。この機会を活かして、5店舗のかけうどんを食しました。すべてが高レベルに美味しく、出汁の味、コシ、太さなどが、すべて異なり、改めて「香川県うどん文化」の深さを知ることになりました。次に、果物王国の岡山県ですが、清水白桃、桃太郎ぶどうなど甘くおいしい「極上果物」の…。グルメレポートはさておき、支部

総会の報告に移らなくてはなりません。

各支部総会では、平成25年度事業報告及び決算報告、監査報告がなされ役員の変更を図り、平成26年度の事業計画及び予算案が承認されました。参加者が少数ということもあり、対面形式の運営で終始アットホームな雰囲気のほか、保護者の皆さんのやり取りが印象的でした。

各個別面談においては、学業への取組み状況や卒業までの取得単位のあり方、就職活動のスケジュール変更など多くの不安に対するやり取りがありました。また、大学での学びは、決して就職だけのための学びではないということをお話させていただきました。自分が高まっていく喜びを知り、常に自分を高めるための努力をすること。先人の教えをもう一度振り返り自分のこととして吸収し、またそれについて自分なりの結論をひとつずつ確認していくことが大切になります。これこそ、これからの社会で必要な学びへの構えではないでしょうか。

総会後の懇親会においても盛り上がり、父母と教職員がともに、学生たちの社会的・職業的自立を促す関わりが必要不可欠なることを再認識する会となりました。

支部総会での相談を受けて

越谷キャリア支援課

課長 毛利 健



今年度は、福島中通り、埼玉、新潟、長野、福岡・佐賀、長崎、大分の8つの支

部総会に参加させていただきました。なかなかお会いできない保護者の皆様と交流が持てたこと大変嬉しく思っております。皆様から伺った就職に関する不安やご意見を就職支援に生かせるよう尽力してまいります。さて、本学学生と就職活動について少しお話しさせていただきます。

就職活動の目的は、就職を希望する相手(採用担当者)に、自分がいかに求めている人材であるかを伝え、納得させることにあります。そのためには求めている人材を理解し、それを自分の中に見つけ出したら、文字や言葉や体全体で相手に伝える力が必要となります。そうした活動の中で相手が納得した時、採用になるのです。

そのためには、相手から見える自分の姿を知ることが必要です。相手

から教えてもらうことができれば良いのですが、面接の評価を目前の学生に伝えたりはしません。学生は何が足りないのかを気付くことができない。そこで第三者の目が必要になり、親、兄弟姉妹、友人、そしてキャリア支援課スタッフの出番となります。第三者のアドバイスを真摯に受け止め、対策を講じ活動を継続することで採用を勝ち取ることができるようです。

「キャリア支援課(以下支援課)は怖くて相談に行けない。」ということをよく耳にします。ある日支援課前の廊下で3年生に尋ねてみました。すると

「何を相談していいかわからない。何をしたいのかもわからない。こんなことを相談したら叱られるに決まっている」という返事が返ってきました。決して叱つたりしません。支援課は、迷い悩む学生こそ活用するところなんです。保護者の皆様、悩んでいるお子様には支援課のスタッフが待っているよと勧めていただければ幸いです。



石田学園長講演会IN島根

父母と教職員の会 事務局長

情報学部 教授 惠羅 博



本年8月30日(土)、

未だ残暑厳しい山陰の地、島根県松江市において、本学園

長である石田恒好先生の「教育講演会」が開催されました。これは、文

教大学学園、文教大学藍蓼会、文教大学父母と教職員の会3団体共催によ

るものです。石田先生が研究テーマとされてきた『学力向上と教育評価』

について、長年のご研究の集大成として、その成果を広く全国に啓蒙さ

れたいとの強い思いのもと、その出発点として企画された講演会と伺い、

共同主催者へのお誘いを本会もお受けすることになった次第です。石田

学園長は松江市に近い島根県江津市のご出身ということもあり、この地

をスタートの場所として選ばれた由。本会からは、齋藤会長をはじめ、

田中・森岡副会長、運営委員(湘南教育支援課長) 乳井氏そして事務局

から3名の計7名が参加し、会場の諸係等の役割を果たして参りました。



講演をする石田学園長

会場となった「くにびきメッセ」(島根県産業交流会館)は平成5年にオープンした山陰地方最大のコンベン

ション会場だそうです。玄関を入ると、最上階まで吹き抜けとなってい

る高い天井をもつ幅広い廊下が一直線に続き、スケールの大きさと差し

込む光の明るさを同時に感じられる印象的な場所でした。石田先生の講

演は、前述の円筒形の建物の3階にある国際会議場で行われました。

講演会では、「成績評定と教育評価の混同」の問題点と今後の教育界

への提言を、実践的な観点も含めて熱く語られ、藍蓼会の本学卒業生や

県内の小・中学校の現職教員の方など86名が参加され、熱心に耳を傾け

られておりました。

経営学部シンポジウム

経営学部創設記念

シンポジウムについて

経営学部 学部長 坪井 順一



10月27日にロイヤルホールヨコハマにおいて、経営学部の創設記念シンポジウ

ムを開催いたしました。今年度より

経営学部が開設され、学部の教育理念である「人間尊重の経営」の実践

をめざして、河野太郎衆議院議員、阿部剛士インテル副社長、中島敬二

ナカジマコンサルタンシー・サービ协会会长(前インド住友商事社長)の

3名の方々に「人間尊重の経営をめざして」というテーマでご講演をい

ただきました。講演内容の詳細は、経営学部のHPに掲載されているの

でご覧いただければと思います。河野氏からは主に学生を意識して

「歩く前には道はない。歩いたあとに道はできる」と述べ、「人が歩ん

だ道ではなく無人の荒野を歩いていけ」というメッセージをいただきました。

阿部氏からは、自社のシックス・バリユに基づいて説明があり、

人を育てることの大切さや企業の取り組みについてお話しいただきました。また、中島氏は組織の中のさまざまな事例を通して、思いやりが人間尊重になるということを強調されました。父母教の役員・運営委員等20数名も参加され、学生を含めて300名の聴衆は人間尊重のあり方を考えさせられる有意義な時間を過ごすことができました。

祝賀会は同じホール内で、父母と教職員の会主催で90名近い人々が参加して行われ、経営学部の門出にふさわしい華やかな会になりました。

最後になりましたが、父母教の絶大なご協力に感謝するとともに父母教の今後のご発展を祈念してやみません。今回のシンポジウムは、父母教のご協力なしには実行できないものでした。学部を代表してこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



河野太郎衆議院議員の講演

ボランティア活動 IN 福島

いわき市での吹奏楽部ミニコンサート

教育学部 音楽専修

3年 村尾 謙治

この度、父母教前事務局長である秋山 胖先生のご紹介で、9月5日にいわき市立白水小学校にてミニコンサートを開催させていただきました。今回は吹奏楽のフル編成とはまた一味違った、「デイキシー」という形態で演奏いたしました。白水小学校の生徒さんなど約100名のお客様にお越しいただき、大変盛り上がりました。演奏は「Let It Go」や「あまちゃん」などおなじみの曲を演奏し、子供たちは曲に合わせて踊ったりして楽しんでいました。最後には復興への気持ちを込めて「花は咲く」を演奏させていただきました。被災地でこのように演奏させていただきました。普段の演奏会では感じることで、きない胸にこみ上げるものがありました。この貴重な経験を今後の演奏活動に生かしていきたいと思えます。

今回、このように越谷市から遠く離れたいわき市で演奏することができたのは、日頃から支えて下さっている父母と教職員の会の皆様のご厚情の賜物であります。また今回のいわき市での

演奏に際して、父母と教職員の会から援助金を支給していただき、深く感謝しております。

今後ともその他の学生や学生団体のより良い活動のために、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



福幸祭に参加して

国際学部 国際理解学科

3年 入山 翔多

こんにちは。文教大学和太鼓部「楓」です。私たちは、文教大学湘南キャンパスを拠点とし、小学校や老人ホーム、各地イベントでの出張公演を行っています。今回、9月21日(日)福島県福島市佐原にて開催された「福幸祭」には、

3年生がボランティアとして参加しました。福幸祭は、福島県浪江町の避難されている方々がお住まいの、佐原仮設住宅にて行われています。ここでは、15種類ほどの飲食やゲームのブースを

出し、その中で楓は、和太鼓のワークショップと曲目の披露をしました。福島へ行く前は、自分自身初めて訪れる被災地への不安と、そこで演奏するにあたっての緊張で胸がいっぱいでしたが、実際に訪れてみると、地域の方々同士、ボランティアの方々と楽しく和気あいあいと過ごす人たちを見て、逆になんだか自分たちが元気をもらったような気がしました。演奏の方も大盛況となり、最後には、同じボランティアとして来られていた阿波踊りの団体とコラボをすることもできました。

この福幸祭には、このイベントを企画したボランティア団体だけでなく、福島大学のボランティアサークルの方々も参加しており、学生同士の交流も行うことができました。イベントを通じて多くの人々と太鼓を通じて触れ合うことができ、とても充実した良い機会となりました。



広報マーケティング室から

「教員養成に強い大学」をアピールするため、B3ポスターとA4チラシを制作。オーブンキャンパスや高校訪問を通じて受験生に広報しました。

小・中学校
全国教員採用者数
第1位
[私立大学]
教員になりたいなら、
教員になれる大学選びを！
教育力の伝承校。 文教大学
Bunkyo University

今号の内容はいかがでしたでしょうか。今後もお子様のキャンパスライフを身近に感じていただけるような誌面作りをめざしております。皆様のご感想などを父母と教職員の会事務局までお寄せいただければ幸いです。

e-mail :
fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp

編集後記

今号の表紙は、湘南校舎メディア棟入口の彫刻です。今年の支部長研修会「ホームページ勉強会」の会場です。伝説の3本足の大ガラス「八咫鳥」も登場して、幻想的な中世ヨーロッパの世界を表現しています。